

2024年1月16日

各位

会社名	株式会社エーアイ
代表者名	代表取締役社長 廣飯 伸一 (コード: 4388 東証グロース)
問合せ先	執行役員総務グループ統括 小川 遼 (TEL. 03-6801-8402)
会社名	株式会社フュートレック
代表者名	代表取締役社長 西田 明弘 (コード: 2468 東証スタンダード)
問合せ先	管理部長 秦 真一郎 (TEL. 06-4806-3112)

株式会社エーアイと株式会社フュートレックの経営統合に関する基本合意書締結のお知らせ

株式会社エーアイ（以下「エーアイ」といいます。）と株式会社フュートレック（以下「フュートレック」といいます。）は、本日開催した両社の取締役会において、両社の間で経営統合（以下「本経営統合」といいます。）に関する基本合意書（以下「本基本合意書」といいます。）を締結することを決議し、本日付で本基本合意書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本経営統合の背景と目的

(1) 本経営統合の背景

エーアイは、2003年4月の設立以降、音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供に係る事業を行ってまいりました。「エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます」との企業理念を定め、声で作れる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を追求し、音声技術で社会の役に立つサービスの創出に努めてまいりました。中核技術である日本語音声合成エンジンについては研究開発から製品開発、販売、サポートを全て社内で行っております。また、成長戦略の一つとして「事業領域の拡大・新しいマーケットの創出」を掲げ、音声合成のみならず、音声技術やその周辺技術に関するサービスを総合的に提供できる会社となることを目指しております。

一方、フュートレックは、2000年4月に携帯電話用に特化してビジネスモデルの提案から具現化まで一貫して提供できる半導体設計会社として設立されて以来、「社会の変化に柔軟に対応して、その時代に求められる商品を追求めし、継続的に発展する会社を目指す」という経営理念のもと、ソフトウェアの開発から各種サービス事業への展開、M&Aの実施等により事業内容を変化させてまいりました。現在、フュートレック及びその連結子会社3社は「音声認識事業」、「デジタルマーケティング事業」、「映像制作事業」及び「システム開発事業」を運営しており、「音声認識事業」と「デジタルマーケティング事業」を中核事業と位置付け、事業拡大を図っております。「音声認識事業」においては、話者を識別する「話者識別技術」や、利用者が認識させる文章を任意に追加学習させることができる「モデル自動作成システム」等の周辺技術を開発し、音声認識と組み合わせることによる付加価値の提案とともに営業活動を推進しております。

以上のように、両社は音声関連技術分野を事業の中心とする研究開発企業として事業を展開しておりますが、業界を取り巻く環境につきましては、社会全体でのAI関連技術の進化が加速し、新規参入企業の増加など企業間の競争が激しくなっております。さらに、大規模言語モデルに代表されるAI技術の進歩により対話シナリオの自動生成が可能となったことで、両社が保有する単一技術だけでなく、近接する技術領域も加えた音声対話ソリューションのニーズが増加しております。

このような状況下において、両社は2019年4月16日に業務提携契約書を締結し、音声合成技術及び音声認識技術を活用した音声対話システムや双方のソリューションを活用した製品化の検討を進めてまいりました。そして、2022年末頃、エーアイは、当時フュートレックの筆頭株主であったグローリー株式会社（以下「グローリー」とい

います。)より、グローリーの保有する全てのフュートレック株式の売却の打診を受けたことを踏まえ、フュートレックと共に両社間における事業上のシナジーの可能性について議論を重ねた結果、フュートレック株式の取得により、両社において新たな成長機会を創出、実現することが可能であるとの結論に至りました。

そして、両社は2023年5月に資本業務提携契約書(以下「本資本業務提携契約書」といいます。)を締結し、2023年6月に、エーアイは、公開買付けによりグローリーの持つフュートレック株式を取得し、現時点で、エーアイはフュートレック株式を議決権比率で40.54%を所有しております。

その後、両社は本資本業務提携契約書に基づき、資本業務提携委員会を発足し、両社が持つ研究開発技術や製品・サービス、及び営業のノウハウ等について協働関係を構築し、互いの強みを活かしたシナジー効果を発揮すべく、議論を重ねてまいりました。その結果、研究開発のスピードアップや技術開発力の強化、顧客へのサービス提供力の向上、各事業のエンジニアによる情報交換や人的交流を進め、収益力向上や業務効率化等を最大限に発揮するには、両社の経営統合を目指すことが最善であると判断し、この度本基本合意書を締結するに至りました。

(2) 本経営統合の目的

両社のこれまでの事業活動の成果である、顧客基盤や競争優位性のある技術・ソリューションを両社で共有し、「音声合成」及び「音声認識」双方に強みを持つことにより、音声関連技術を保有する研究開発企業として、国内の新たなトップランナーを目指してまいります。また、フュートレックのもう一つの中核事業であるCRM事業を中心としたデジタルマーケティング事業と音声関連技術事業の2つを事業の両輪として、企業価値の更なる向上を図ってまいります。加えて、経営統合によって企業規模の拡大が図られ、より強固な経営基盤の確立や管理部門の統合による経営機能のスリム化により収益力の向上の実現を目指してまいります。

2. 本経営統合の方式及び経営統合後の体制

両社は、2024年6月に開催予定の両社の定時株主総会の承認及び本経営統合に必要な関係当局の許可等の取得を前提として、2024年10月1日に本経営統合を実施する予定としております。また、本経営統合の具体的な方法及び本経営統合後の体制等については、今後、両社の合併を基本としつつ様々な選択肢の協議及び検討を重ね、本経営統合に関する最終契約締結までに決定いたします。なお、エーアイによるフュートレック株式の追加取得を行う公開買付けは想定しておりません。

3. 本経営統合のスケジュール

本基本合意書の締結に関する取締役会決議(両社)	2024年1月16日(本日)
本経営統合に関する基本合意書締結	2024年1月16日(本日)
本経営統合に関する最終契約締結	2024年5月(予定)
定時株主総会(両社)	2024年6月(予定)
本経営統合の効力発生日	2024年10月1日(予定)

4. 両社の概要

①名称	株式会社エーアイ	株式会社フュートレック
②所在地	東京都文京区西片一丁目15番15号	大阪市淀川区西中島六丁目1番1号
③代表者の役職・氏名	代表取締役社長 廣飯 伸一	代表取締役社長 西田 明弘
④事業内容	音声合成エンジン及び音声合成に関連するソリューションの提供	音声認識技術を利用したサービスの企画・提案、及びそれを実現するためのシステム設計 デジタルマーケティングソリューションの提供、及びそれに伴うシステム設計等
⑤資本金	100,000,000円 (2023年9月30日現在)	100,000,000円 (2023年9月30日現在)

⑥設立年月日	2003年4月1日	2000年4月17日				
⑦発行済株式数	5,168,000株 (2023年9月30日現在)	9,504,200株 (2023年9月30日現在)				
⑧決算期	3月31日	3月31日				
⑨従業員数	単体62名 (2023年9月30日現在)	単体71名 連結95名 (2023年9月30日現在)				
⑩主要取引先	株式会社NTTドコモ	国立研究開発法人 情報通信研究機構				
⑪主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社りそな銀行	株式会社池田泉州銀行 株式会社三井住友銀行 三井住友信託銀行株式会社				
⑫大株主及び持株比率	廣飯 伸一 17.79% 吉田 大介 12.98% 合同会社吉田事務所 11.62% 株式会社ソルクシーズ 5.05% 吉田 大志 3.03% 亀井 佳代 2.93% 吉田 昭 0.97% 野村證券株式会社 0.82% 日本証券金融株式会社 0.77% モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社 0.66% (2023年9月30日現在)	株式会社エーアイ 40.53% 和田 章 1.53% 株式会社SBI証券 1.49% 上田八木短資株式会社 1.06% フュートレック役員持株会 0.84% 有限会社みんな 0.75% 西田 明弘 0.73% 河合 謙一郎 0.68% 吉田 幸保 0.64% 遠藤 政勝 0.59% (2023年9月30日現在)				
⑬当事会社間の関係						
資本関係	本日現在、エーアイはフュートレックの発行済株式総数（自己株式を除く）の40.53%を所有しており、フュートレックの主要株主である筆頭株主に該当します。フュートレックは、エーアイの関連会社であり、関連当事者に該当しません。					
人的関係	エーアイの執行役員2名がフュートレックの取締役を兼務し、エーアイの監査等委員である取締役1名がフュートレックの監査等委員である取締役を兼務しております。					
取引関係	2019年4月16日に業務提携契約書を締結し、2023年5月11日に資本業務提携契約書を締結し現在に至っております。業務提携契約に基づき、音声合成技術及び音声認識技術を活用した音声対話システムや双方のソリューションを活用した製品化の検討など調査を進め、2020年3月期においてエーアイからフュートレックに対して音声対話システムの開発に関する発注を行っており、その取引高は4,100,000円となります。					
⑭直近3期の財政状態及び経営成績（単位：千円。特記しているものを除く。）						
決算期	株式会社エーアイ (単体)			株式会社フュートレック (連結)		
	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
純資産	1,232,022	1,279,605	1,191,058	2,582,697	2,715,055	1,989,299
総資産	1,352,003	1,354,931	1,393,512	3,774,255	3,868,438	3,318,833
1株当たり純資産（円）	224.06	253.49	240.72	255.13	269.51	193.18
売上高	887,565	756,568	633,998	1,833,733	1,590,642	1,662,556

営業利益又は営業損失(△)	288,198	112,130	19,887	△186,780	122,897	△253,323
経常利益又は経常損失(△)	288,424	109,742	22,409	△163,193	121,366	△235,450
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	215,194	83,759	16,367	△391,850	133,273	△663,938
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△) (円)	42.79	16.59	3.28	△41.87	14.24	△70.95

5. 今後の見通し

本経営統合が、両社の2024年3月期業績に与える影響は、現時点においては軽微であると見込んでおりますが、中長期的には両社の企業価値向上に資するものと考えております。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上